

今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。ルカ6章21節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中 田 輝 次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869
FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp



10月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ① 一般の意向：世間での信仰による証し
- ② 布教の意向：宣教事業に対する祈りと経済的援助
- ③ 日本教会の意向：広報活動

終戦60周年事業 イタリア平和巡礼の旅

世界初の原子爆弾被爆と終戦60周年にあたり、長崎と広島両被爆地の宗教者が去る8月23日から30日までの日程でバチカン・イタリア平和巡礼を行った。

巡礼は長崎県宗教者懇話会(野下千年会長)と広島県宗教連盟(池谷亮淳会長)とが合同企画したもので、キリスト教、仏教、神道、新宗教などの宗教者および関係者ら30人が参加した。

一行は24日、名誉団長として同行、案内役を務めた高見三司大司教(長崎県宗教者懇話会顧問)とともに、バチカンでの教皇謁見式に臨んだ。バチカン当局のご厚意により、ホール最前列、中央通路沿いの位置に座席が与えられ、入堂される教皇さまから一人ひとり手を握っていただく光栄にふさわしい写真上。



教皇は人々の歓迎に迎えながらステージに登壇、5カ国語でメッセージを述べた。そのあと、謁見者のグループが国や地方の名とともに紹介され、「長崎・広島諸宗教代表者たち、日本」が呼ばれ、日本グループが総立ちで喚声を上げると、教皇は大きく手を広げて応えられた。式後、壇上の特別席で、高見大司教は教皇の抱擁を受けて特別接見(写真右)を行い、諸宗教者による平和巡礼の意図を説明すると、教皇は感謝と祝福の言葉を送った。

巡礼団は記念品として波佐見焼きの花瓶と広島・長崎両市の共同制作による30枚構成の原爆被爆写真ポスターを教皇に献上し、さらに同ポスターのバチカンにおける常設展示の依頼と、歴代教皇の献身的平和協力への感謝および宗派を超えて教皇と心を共にし、世界平和に貢献していく日本宗教者の誓いを認めた。メッセージを手渡した。



汐留義和・新助祭の叙階を喜び合う



9月4日午後3時から、浦上教会で高見三司大司教により、汐留義和神学生が助祭叙階の恵みを受けた。小雨の降る中、叙階の瞬間を見守るために集まった多くの信徒に囲まれて、新たに一人の助祭が長崎教区の中に加わった。新しく助祭に叙階された汐留助祭は、1976年4月4日生まれ、29歳。

助祭叙階を受けて

洗礼者ヨハネ 汐留義和(桐 教会)

助祭叙階という神さまからのあふれるほどの大きなお恵みを受けたことを神さまに感謝いたします。そして、これまで私のために数知れないご支援とお祈りをささげてくださいました。そして、これまで私が感じることは、自分が弱さの中にあった時、苦しみの中にあった時に神さまが目に見える形でいつも励ましてくれていたということでした。高校の時に父親を亡くしましたが、多くの先輩の神父さま方、修道者の方々、信徒の皆さま方に助けられ、励まされながら、神さまがいつも共にいてくださっていることを身をもって体験いたしました。特に病気に苦しみながらいつもロザリオを手に持った祈りを唱えてくださっている祖母の姿、体が弱いのに毎日ごミサに向かう母の姿は、私に神さまに信頼する心を培わせてくれました。未熟者ですが、一生懸命に奉仕者の務めを果たしてゆきますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

聖体の年を締めくくる教区・地区の取り組み届く

昨年10月に故ヨハネ・パウロ2世教皇が定めた「聖体の年」も、今年10月で閉幕を迎える。各地区で聖体の年を飾る行事が年間の中で組まれた。最終的には教区として聖体の年の閉年ミサが10月30日(日)午後2時から浦上教会で行われ、各地区で取り組んできたことが奉納される予定だ。今年4月から3月に分割された長崎の各地区でも行事が組まれた。今月は中地区を取り上げる。

9月4日(日)午前10時30分から、浦上教会にて中地区の聖体の年閉年の合同ミサが行われた(写真)。高見三司大司教の司式のもと、稲佐教会・本原教会・浦上教会・西町教会・城山教会・三ツ山教会から約1000人の信徒が集まり、共に祈りをささげた。



に被爆マリア小聖堂が完成したことと敬意と感謝の意を述べた。さらに8月9日の平和祈願祭でパックス・クリステイ代表のボブ・クッシング神父が話された罪のゆるしを求め、メッセージを要約しながら、洗礼と聖体を通して兄弟である私たちもまた「友を憎むこと」はキリストを憎むことです。友を無視することはキリストを無視することです。

です」と会衆に訴えた。被爆60年と聖体の年にあたって今回行われた合同ミサは、「閉年」というよりもむしろ、これから私たちの歩みの中にこそ聖体の助けをより強く求めなければならぬと示唆するものであった。ミサのあと、被爆マリア小聖堂では多くの信徒が足を止めて静かに祈りをする姿が見られた。

辞令

裁判官 古巣 醫師 川原義和師 2005年7月1日付 2005年9月3日付

「聖体の年」ご聖体のためのホスチア作り

「ご聖体のパンは、どこで作られているの?」こんな素朴な疑問を持つたことはないだろうか。今回聖体の年の締めくくりにあたり、皆さんの素朴な疑問に答えるべく、教会の多くが取り寄せをしている「長崎純心聖母会修練院」を訪ねて、ホスチア作りの様子を紹介することにした。



インタビューに答えてくれたのは、初期修練長でもある山田房恵修練女です。写真右、浦上出身で、

現在のこの仕事にたずさわって4年になる。●ホスチア(ご聖体になる前の、薄いパンのこと)作りはどなたが担当しているのですか? 初期修練者の奉仕の一環として「ホスチア焼き」をしています。現在、初期修練者がいないため、第三期の修練者4人と、あわせて5人6人でつくっています。1枚の広いシート状に焼く、焼いたシートを適度に湿らせる、大小のホスチアを切る、選別と袋詰めなどの段階を経て、各教会にお届けしています。●作業は決まった日に行うのですか? 作業は毎週火曜日、朝8:00~夕方17:00に行っています。また切ったホスチアはよく乾燥させます。1日に作ることでできる枚数は、大500枚、小20、000枚を取るのが精いっぱいです。●教区すべての教会の必要に応じているのですか? 2005年から、長崎市内の教会にのみ出しています。1日につくる枚数が限られていて、すべてに対応できないのです。以前は80カ所にお届けしていました。長崎市以外の教会(佐世保・五島など)は、鹿児島にある「聖血の礼拝会」に引き継いでもらいました。●ズバリ、収入になっているのですか? ホスチア作りは教会奉仕のためです。利益を考えたものではありません。●根気のいる作業です。焼いて、形抜きをして選別し、乾燥させます。大ホスチアは25枚ずつ紙で包み、50枚単位で袋詰めにし、小ホスチアは200枚ずつ袋詰めになります。当然ですが、ホスチアはミサで司祭が聖別して初めてご聖体になります。(余談・浦上教会にお届けしている枚数は、小さいホスチアが毎週3000枚、大きなものが毎月150枚です)●大きさが決まっているのですか? 作っているホスチアは大小2つの大きさがあります。大は直径7.5cm、小は直径2.5cmくらいです。●湿気を一定にして作業、蒸し風呂のようですね。夏は暑くて大変です、冬は乾燥して割れないかと心配です。意外に思われるかもしれませんが、作業がやりやすい日は曇りや雨の日です。また、修練者が作業ができないとわかっている時期は、前もって焼く日を調整しておきます。



幼い頃、「神父さまはいい仕事だよ。神父さまが言葉かけると、パンがイエスさまに変わるんだよ」と布団で寝るたびに言い聞かせられて寝かしつけられていました。ほかに、体が大きくなって低学年の侍者服が入らなくなり、たまたま中学生の侍者服を着せられたときに、「これを着たら神学校に行かなければならないんだよ」と香部屋係のシスターに言われました。あときで考えると、先輩の中学生は誰一人神学校に行かなかったのですが、「行かなければならなかったのだ」と自分で暗示をかけてしまっていました。それらのことがあったためか、自然と司祭にあこがれを持つようになっていました。何であれ幼い頃の体験は必ずと言っていいほどその人の将来に影響を与えるわけですが、新しく助祭叙階を受けた受階者にはどんなエピソードがあったのでしょうか? とある教会でミサをささげていたとき、2階で騒ぐ幼児に堪忍(かんにん)袋の緒が切れ、ミサが終わったら叱ってやろうと思ったことがありました。その決意を持って派遣の祝福をしていると、2階にいるその子が私と向き合っていて「派遣の祝福」のまねをしているではありませんか。怒るに怒れなくなり、苦笑したことがあります。「なるまでの時間は長い、なつてからの時間は短い」とはよく言ったものです。これから現場に出ると、神学院での6年を3年で経験することでしょう。その後のびのないように、頑張ってください。

イエスさまが来ましたよ!

下釜 博美 (援助マリア会修道女)

「イエスさまが来ましたよ!」と声が聞こえます。病院で聖堂に来られない方のために、神父さまが部屋を回ってご聖体を拝領させておられるときの声です。ある方は、もう、ご聖体を拝領することができません。しかし、神父さまはご聖体を携えて「イエスさまが来ましたよ!」と声をかけ、部屋に入り、病気の方には手を置いて祝福を授け、看病しておられる方に、祈りをしてご聖体を授けられるそうです。ご家族は、この神父さまのなさり方にとっても感謝されたというのでした。そして、数日後、イエスさまがその方を迎えに来られたのでした。

私はこの話を聞いて、ご聖体をいただくことができない方も、そのお声と祈りを聞きながら、どんなに力をいただけたことでしょう、と感動しました。「私とご聖体」の原稿を書いてくださいと言われて、まず思いついたのがこの話でした。

イエスさまは「世の終わりでいつでもあなたとともにいる」と言われて、ご聖体のうちに現存され、生きている時までには私たちの「旅路の糧」として、また、死の間際には「臨終の糧」として授けられているということは、本当に感謝でいっぱいになります。

聖体年の終わりにあたり、あらためて、このような素晴らしい神さまからの恵みに生かされている私であることを心から感謝したいと思います。そして、これからも「旅路の糧」であるご聖体に養われながら、私たちとともにいるために「食べ物」となってくださった「神さまの愛」を、主が来られるときまで、人々に示していきたいと思いました。

聖体と私

濱口 秀隆 (滑石教会信徒)

ご聖体のことを思うときに、どうしても忘れることができないのは時津にお住まいだった一人の老人の姿です。10年近く前に、神父さまの車係として病人訪問を手伝っていたとき自宅での長い闘病生活の後、入院ということになったご老人のもとへ神父さまとともに訪問しました。

奥さまが「誰の声にも反応を示さなくなっても、主治医と神父さまはわかるみたいで喜ぶんですよ」と教えてくださいました。体調が悪くゆるしの秘跡はできず、小さく割いたご聖体を舌に乗せ時間をかけて水とともに呑み込む姿が今でも思い出されます。

最後は神父さまの祝福に安堵(ど)の笑顔です。神父さまの「また来ますね」の言葉が私の耳には消えない言葉となっています。病人訪問をした数年前同じ病院の隣の部屋に私も入院し担当の主治医まで同じ先生だった事も何かの縁なのでしょうが、私と大きく違うのは、苦しみを耐えた時間の長さだけではなく、ご聖体を持ち焦がれる熱い思いでした。私はいま、毎日でもご聖体のお恵みを受けることができます、しかし私は、仕事がついてミサの時間に起きることができない、仕事に行く時間にミサが終わらないと言い訳をします。

おじいちゃんが聞いたら何とおっしゃるでしょうか、苦しみに耐え信仰に生きた方は、ご聖体のもつ大きなお恵みで神さまに導かれるのでしょう。言い訳をやめ、ご聖体に近づいたときおじいちゃんのようなすてきな信仰生活ができるのですが、それはまだまだ遠いことのようにです。心の弱い私のために、おじいちゃん、天国でお祈りを願います。

食べられるために...

松田 聡史 (早岐教会主任司祭)

大神学生の頃、今は亡き島本大司教さまが神学校の講話の中で、次のようなことをおっしゃったのを覚えています。「食べられるような人になつてください」。自分を犠牲にして、人に喜ばれる人間になるように...という意味だったと思います。

イエスさまもまさに食べられるために生まれていらつしやいました。生まれたてのイエスさまが初めて寝かされたのは、家畜の餌を入れる「飼いの葉桶」だったと福音記者ルカは伝えています(2章7節)。私たち羊を養うために自らのいのちをささげていくという使命、それがこの「飼いの葉桶」に表現され、いよいよ仕える生涯がそこから始まっていくのです。ご聖体は、そのイエスさまが貫き通した自らを犠牲にする生き方そのものを表わしているのだと思います。

ご聖体の年を過ごし、また司祭生活10年目を過ごしながら、あらためて今、島本大司教さまのことばと「飼いの葉桶」が重なる心に響いてきます。「食べられるために」...自らに問い掛けることを忘れずに、司祭として生きていきたいと思っています。



裏を知ってなおさら聖体をとうとぶ

匿名希望 (主任司祭)

小学生の教会学校(当時は「けいこ」と言っておりましたが)にめずらしく行ってみると「今日はホスチアを焼いているからけいこは休み」ときた。たまには行ってみるものである。公民館の奥に台所があり、そこで教え方のシスターが炭火を起こして焼き型を十分熱し、小麦粉を溶いたものをさつとつけて、楕円形のうすいパンを焼いていた。表面には、最後の晩さん(だったと思う)の絵がデザインされていて、中央には司祭用の大きな円があらわれており、その周りを小さなホスチア用の型抜きでポン、ポン、と抜きながら、最後に大きな円をハサミで整える。問題は、すべてを切り取ったその残りである。私たちが物欲しそうにその「残り」を眺めていると、教え方のシスターも心得たもので、「今度からけいこに来たら食べてよし」と仰る。一も二もなく「はい」と返事をするのだが、その後も「けいこ」に行つたためしがない。それでも教え方の指導はたいしたもの、今ではその少年が島の主任司祭である。表に出ることのない秘密までも知った者だけが、あとでその秘密に生かされる者となるのだと、当時を振り返って思う。

**2006年度
日本カトリック
信徒宣教師会
派遣候補者募集開始**

派遣者はアジア・太平洋各国で、地域の人々とともに医療・環境・農業・女性・子供のための活動や現地カトリック教会による社会福祉・開発プログラム実施を支援していきます。日本における7カ月の研修後、派遣国で6カ月間現地語を学習し、2年間(延長可)の活動を行います。

(応募資格)
年齢21歳以上、洗礼を受けて3年以上。社会経験2年以上、基礎的な英語力など。一般的な日本および国際情勢の知識と理解があること。心身ともに健康であること。

(募集人数)
3名から7名

(応募手続き)
電子メール、電話またはファクスでお問い合わせください。ホームページ (<http://jimn.net>) からの資料請求も可能です。募集要項をお送りいたします。

(応募書類送付締切)
2005年10月31日(月) 必着

(問合せ先)
Eメールアドレス jimn@jade.dti.ne.jp
担当・辻
TEL 03(5414)5222
(平日9時半~17時)
FAX 03(5414)0991

(派遣状況 05年4月現在)
・カンボジア3名 衛生教育、識字教育、女性自立支援
・タイ2名 少数民族生活支援、農業指導、自立のためのハンディクラフトによる現金収入プログラム支援

いんどう園

▼イエズス会立山修道院お知らせ
●日帰り黙想
①10月17日(月) ②11月7日(月) 10時~15時半 ●
●1泊2日黙想
①10月15日(土)~16日(日) ②11月5日(土)~6日(日) 初日17時~翌日15時半
TEL 095(82)4577

▼公開聖書講座「預言者とキリストとの関係」
10月20日(木)19時~20時半
カトリックセンターホール 講師・高見三司大司教 前売券800円(当日1000円) 問合先・生涯養成委員会
TEL 095(84)7731

▼第9回長崎純心レクチャーズ 10月25日(火)~27日(木) 15時~17時 ※1日のみの参加も可 同

寄付

●中村 裕様 (大崎) ●溝口悦雄様 (大崎)
右の方々から寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院

介護センター あおぞら
新設につきヘルパー急募

資格: ヘルパー2級以上 年齢・経験: 不問
時給: 1,200円~ くわしくは面談の上。
助けを必要としている方々のお役に立ちたい方は、どうぞ御一報ください。カトリックの方大歓迎です。

場所: 長崎市油木町12-1
電話: 842-6550 崎谷まで

**長崎南山中学校・高等学校
学校公開・入試説明会**

日時: 10月29日(土) 午後2時~4時
11月5日(土) 午後2時~4時
場所: 本校5階講堂

長崎市上野町25-1 電話 095-844-1572
ホームページ <http://www.n-nanzan.ed.jp>

豊かな緑と眼下に広がる海
社団法人 西部長崎共同墓地公園

事務局 ミカエル 大田 力
西彼杵郡時津町々々川郷172番地
TEL FAX 095-884-1817

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
〒852-8013 長崎市梁川町6-17 岩永ビル
☎(095)862-2469

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)(代)847-7151
844-1420

貨物保険有り
・般引越
・小荷物
・荒ゴミ捨て
・遠距離
・学生引越
・ピアノ運搬

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

教会・巡礼地紹介の ガイドブック発刊

9月の秋風に乗って長崎教区の教会が大きなアップされている。教会、キリシタン資料館など巡礼地を紹介したガイドブックの発行、教会などをめぐる観光バスの周遊コースに「キリシタンの里」

が組み込まれるなど、ながさき観光に一役買った福音宣教ともいえる。9月1日、長崎文庫社が「長崎・天草の教会と巡礼地完全ガイド」を出版した。長崎大司教区監修で、長崎教区内の70小教区すべてをカラー写真(132ページ)におさめ、交通アクセス、聖堂内の参観時間なども紹介する。取材は、純心大学学長・片岡千鶴子、結城了



長崎バス観光が新たなコースとしてカトリック作家・遠藤周作の「沈黙」の舞台となった旧外海町(現長崎市長津町)にある遠藤周作文学館、ド・ロ神父記念館、出津、黒崎教会、外海歴史民俗資料館などを巡る。運行は11月末日までの土・日曜日、祝日。午前9時JR

長崎駅前出発、午後1時40分帰着。(詳細は長崎バス観光へ)

9月の第1土曜日に行われるイベントで、参加は同教会・南山学園・ルドヴィコ神学院関係者のみならず、近隣の住民にも開放されている。当日は、神言会日本管区副管区長をはじめ約1500人が参加、長崎市立緑が丘中学校吹奏楽部による演奏に始まり、ダンス、踊り、手品などが披露された。参加者は飲み物やお



つまみを手にも、思い思いに楽しい交流のひとつを過ごした。今回の目玉は「マクロの解体ショー」、重さ140kgの大きなマクロがステージ(写真)に姿を現すと、多くの子供たちが珍しそうに舞台の側に集まった。解体されたマ

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

使館を通して神言会(西町教会)に依頼があり、次の日程で公演が決まった。南山小コーラス部も賛助出演する。11月1日(火)、午後6時30分、浦上教会。入場券大人前売り1000円(当日1200円)、中高生同500円(当日600円)。詳細は各小教区ポスター掲示、問い合わせは西町教会へ。主催西町教会、南山小学校。

第16回福者カミロ・コンスタンツォ神父殉教祭

9月18日、平戸地区では田平町焼罪公園で第16回福者カミロ・コンスタンツォ神父殉教祭(写真)が行われ、各地から約400人の信徒が集まった。ミサは平戸地区長・前田万葉神父(平戸ザビエル記念教会)司式のもと、10数人の司祭と共にさ



説教では、カミロ神父とそれに協力した生月の信徒たちとの命を懸けた交わりが語られ、「その信仰を受け継いでいる私たちも、もっと永遠の命を目指した生活を自覚していこう」と呼び掛けた。ミサ後、聖体賛美式が行われ、参加した一人ひとりが殉教者から力づけとご聖体の恵みをお願いして家路についた。当日は、殉教祭が始

まるまで雨交じりの天気だったが、式中は晴れ上がり、聖歌の声も青空に響き渡った。

カミロ神父は禁教令により宇久島で捕われ、1622年田平で火あぶりの刑をうける。

九州視覚障害者情報提供施設沖縄大会 マリア文庫から3人受賞



9月8・9両日、沖縄都ホテルで、九州視覚障害者情報提供施設大会(主管・沖縄県視覚障害者福祉協会)が開かれ、長崎から声の奉仕会・マリア文庫(指導司祭・中田輝次郎)野崎博子修道女ら13人が出席、点訳の手引きと点字表記辞典の活用、写真・図表の処理などの研修を受けた。

大会初日の8日、各施設で活動する人たちの表彰があり、マリア文庫から13・25年余の奉仕継続・協力者として烏山貞子さん(本原教会)松尾絹江さん(長崎市春木町)深堀 柱さん(城山教会)が受賞した。

マリア文庫は、マリア文庫(指導司祭・中田輝次郎)野崎博子修道女ら13人が出席、点訳の手引きと点字表記辞典の活用、写真・図表の処理などの研修を受けた。

大会後子供たちの相互交流をかねてバーベキュー大会を行った。初めての

衆院選挙 山田、北村両氏当選

郵政民営化を問う衆議

院選挙は9月11日、小選挙区とブロックの比例代表で投票・開票が行われ、

長崎の選挙区から立候補した2人の信徒がそれぞれ当選した。

山田正彦(民主・前63歳、大村市) 北村誠吾(自民・前58歳、佐世保市)

山田正彦(民主・前63歳、大村市) 北村誠吾(自民・前58歳、佐世保市)



慰霊の夕べ 新作能を企画 片岡 千鶴子 修道女

(純心大学学長)

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

今年、純心は学園創立70周年、同時に被爆60年

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。

「能による被爆60年慰霊の夕べ」を企画する。純心学園と浦上教会の共催で、新作能「長崎の聖母」(多田富雄作、シテ清水寛二)を11月23日上演する。



行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

行われた日だからです。そして、この日から浦上は、原子野からの再建に立ち上がっています。多田先生も新作能「長

ビーチドッジボール大会

下五島地区

8月21日、五島市岐宿町打折の浜で小学生ビーチドッジボール大会(下五島地区司祭団主催)が行われ、約70人の子供たちが集まった。

通常ドッジボールは体育館で行うが、五島の自然環境を利用しない手はない、と砂浜で開催されることになった。

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

当日は前日の悪天候から一転して晴天となり、同地区5つの小教区から子供たちが参加、各小教区1チームずつと合同チーム1つをあわせた計6チームが熱戦を繰り広げた。子供たちは試合の合間に海で遊び、楽しい一日を過ごした。結果は福江教会が優勝、

国際親善平和祈念 コンサートin長崎

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

今年被爆60周年を迎えた長崎、さまざまな行事が催された。戦後浦上教会から分家した西町の信徒にとって、特別な意味を持つ。爆犠牲者の慰霊と世界恒久平和祈念として長崎での演奏企画が、日本大

新刊良書

★「あたらしい道へ交わりの精神に生きるために」キアラ・ルービック著「一致の精神」についてフォコラーレ運動のメンバーに向けて語った事柄を一冊の本にまとめている。聖霊によって示されたこの福音的な道、新しい共同体的な道を説く。1996年、ユネスコ平和教育賞を受賞。発行フォコラーレ出版部 1260円

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を

★「ヨハネ・パウロ二世愛と勇気の言葉」中井俊巳著 訪日にあたり寝食を



第20回世界青年の日 2005年 ワールドユースデー(WYD)ケルン大会

「わたしたちはイエスを拝みに来たのです」①

この夏、ドイツで開催されたWYDケルン大会(期間8月16～21日。世界150カ国から青年ら100万人以上が集まった。日本からは公式巡礼団として301人が参加、長崎教区は青年17人と高見大司教をはじめとするアシスタント5人が旅立った。巡礼の全日程は8月9日～25日。非日常的体験の中でキリストを探し、出会い、それぞれの場所へと帰っていく青年たちの道のりを、大会の様子とあわせて紹介する。



ケルン大聖堂前で
観衆に応えるベネディクト16世



ケルン大聖堂前に設置された
ヨハネ・パウロ2世の写真

すべての人に開かれた WYDの世界大会

WYDの世界大会はキリストの受難と復活の神秘を祝う巡礼の旅。参加はカトリック信者・未受洗者にかかわらず、すべての人に開かれており、共に信仰を分かち合う機会となる。

昨年8月6日、今回の第20回WYDに向けて、前教皇ヨハネ・パウロ2世は青年たちにメッセージをおくった。テーマは「わたしたちはイエスを拝みに来たのです」——これは星の導きに従って、長く、決して容易ではない未知への旅を始めた東方の三博士のことば。ヨハネ・パウロ2世は、イエス・キリストへ「人生という黄金」熱心



巡礼の道を歩む日本の青年たち

な祈りの香「あなたの愛を没落として」ささげるよう青年たちに諭し、「わたしたちがキリストに出

の登位後初の国外司牧訪問地(イタリアを除く)となるドイツは、教皇の祖国「この神の摂理に教皇は深い喜びと感慨を表した」と報道されたが、ドイツ・ケルンの地、また、多くの参加者にとっても大きな喜びであった。本大会前の11日からは、ドイツ各地で交流会が行われ、日本巡礼団はルクセンブルクで同教区のプログラム(オープニングセレモニー、夜の集い、コンサート、ホストファミリーとの団らんなど)に参加、14日まで同地でホームステイし、次の

長崎の青年たちの感想①

★今回参加して今まで抱えていた問題に答えを出すことができ、また新たに自分自身と人生を見つめ直すことができました。出会った人々を含め、人生の中でかけがえのないものとなり、大きな転機になりました。本当に参加して良かったです!

(植松教会・里脇幸幸)

★WYDに行って、世界中のたくさんの人に会った。キリスト教というひとつの信仰によって、多くの人がひとつの場所に集まるというのは、やはり何か特別な力が働いていたんだと思う。このような体験ができたのも、たくさんの人たちのおかげです。ありがとうございました。

(長崎コレジオ2年・川端志範)

★WYDケルン大会では数多くの教会を訪れ、そこで多くの人とともにミサをささげることができました。国内外の人とのつながりを感じることができた貴重な経験となりました。

(浦上教会・深堀 彰)

★この旅で神と仲間との存在、そしてその大切さを実感することができ、さらには巡礼中に参加者と歩いたその道程は今でも続いているということを実感する日々を過ごしています。

(本原教会・竹山侑希)

滞在地でデュッセルドルフへ移動した。

私は一体どういう人間なのか、参加できたことを感謝してみんなと一緒に過ごしたい、「巡礼は申し込み時点からスタートしていた。

16日、本大会開幕の日。日本巡礼団は10時から結団式のミサをデュッセルドルフのハイリゲフアミリエ教会でささげた。ミサでは代表の青年3人が、「私たち一人ひとり一つひとつの音がきれいな音をつくりあげるの



教皇を待つ他国の巡礼者

では、「イエスさまがどういう思いで十字架への道を歩いていたのか、私も歩きたい。国籍がない

ていると私は確信します。イエス・キリストと出会ったときを思い起こし、受けたメッセージを今どう生きているか、もう一度見つめましょ」と語り、今年が原爆60年であることにもふれ、世界の平和のための巡礼となるよう共に願い祈った。岡田武夫大司教は、「この2週間は皆さんの生涯の中で大きな意味を持つ

朋 葉



ヨゼフ 野口行雄

庭は我が家の顔
庭木の剪定おまかせ下さい。
格安にて施行致します。
お電話お待ちしております。

長崎市江平3-15-28
TEL 095-846-0181

墓地改修・新設 法定手続・計画・施工

主な施工実績 城山教会墓地、浜串教会墓地、
鮑ノ浦教会墓地、青砂ヶ浦教会墓地

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 浜本直行

本社 長崎市つつじが丘5-1-15
加工工場 諫早中核工業団地
095-839-0374

みことばにふれて 15

尾高修一神父

「イエスは5つのパンと2匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。すべての人が食べて満腹した(マタイ14章19節)」

秋は素晴らしい季節です。勉学の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と言うように、何をす

るにも「もってこい」といった季節ですが、皆さんはどう過ごしますか? やつぱり食欲の秋かな?



(笑) 1年のうちで一番食べ物がおいしい時期ですよ。おいしいものをお腹いっぱい食べられるのは本当に幸せなことなかもしれません。でもちよつと世界に目を向けると、毎日生きていくために必要な食べ物が

ない人がたくさんいます。世界がもし100人の村だったら、20人は栄養が十分ではなく、1人は死にそうなほどです。でも15人は太りすぎです

「世界がもし100人の村だったら」より。聖書の中で、イエスさまは病人を癒やした後、大勢の群衆に食べ物を与えるよう弟子たちに命じ

ました。その数は女性と子どもを除いて男だけであつたのだそうです。イエスさまは多くの群衆を座らせました。そして、神さまに賛美のお祈りをささげてパンを裂き、それを弟子たちがみんなに配りました。(どこかミサに似てるね!)そして食べた人は皆満腹しました。えっ? 足りたの!?

持っているものをすべて差し出したイエスさまに人々は生かされました。毎日ご飯が食べられるのは本当にありがたいことです。感謝しなければなりません。ただ自分のお腹がいっぱいになってそれで満足するのはなく、食べることができな

い人に目を向けたら、持っているものを分かち合うことも忘れてはなりません。イエスさまがそうしたからです。難しいけど。

今年の10月から始まった聖体の年がいよいよ今月で終わります。イエスさまの心に倣って、周りの人に心を配ってみましょう。

映画「マザーテレサ」

長崎セントラルで上映



「アグネス・ゴンジャ・ボジャジュ」、私たちがよく知っている女性の名前です。そうです、案外知られていない「マザーテレサ」の本名です。彼女はあくまでも「マザー

子とその子を腕に抱く母親に恭しく手を合わせるマザーがこのストーリー全体のメッセージの核心を表現しています。それは「苦しむ者の顔に神の顔を映し取ること」。マ

ザーテレサが活動のはじめに同志とともに心にきざした。この映画は一言で言えば「奇跡の映画」だと思っ

10月8日から長崎セントラルにて上映。

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 TEL 857-1166 佐世保市木風町146番地
TEL (0956) 31-8268

平成18年度 児童・生徒募集

精道三川台小・中学校(男子)

公開授業と説明会 小・中学校 10月30日(日) 9:30~
中学校 12月3日(土) 10:30~
説明会のみ 小学校 11月12日(土) 10:30~

〒852-8121 長崎市三川町1234-1
Tel 小学校 095-845-6846 中学校 095-845-6161
http://academic1.plala.or.jp/seidomik

平成18年度 児童・生徒募集

長崎精道小・中学校(女子)

【公開授業・説明会】小・中 10月23日(日) 9:45~
小学校 1月28日(土) 10:00~
【説明会のみ】小学校 11月9日(水)
中学校 11月14日(月)・1月28日(土)

〒852-8123 長崎市三原2丁目23-33 TEL 095-848-4766
http://academic1.plala.or.jp/seidomih



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ハウロ 西村 勇夫
長崎市辻町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896